

海津市スポーツ推進計画（案）

平成 27 年 月

目 次

第1章	策定にあたって	1
1.	策定の背景と目的.....	1
2.	スポーツ推進計画策定の基本条件	2
3.	計画策定の視点	3
第2章	スポーツの現状と課題.....	5
1.	スポーツ活動に関する現状.....	5
2.	スポーツに関する市民意識調査.....	12
3.	スポーツ推進における課題.....	15
第3章	基本的な方向性	17
1.	まちづくりにおいてスポーツが担うべき役割.....	17
2.	計画策定の方向性.....	17
第4章	施策の展開.....	20
1.	スポーツを楽しむ機会の創出	20
2.	スポーツ環境の充実.....	24
3.	スポーツを推進する人材と組織の充実.....	26
4.	スポーツに関する情報の収集、発信	29
第5章	計画の推進.....	30
1.	市民、団体、市の役割	30
2.	推進体制	31

第1章 策定にあたって

1. 策定の背景と目的

(1) 国、県の状況

平成23年8月、「スポーツ振興法」が約50年ぶりに「スポーツ基本法」に改定され、平成24年3月には同法に基づく「スポーツ基本計画」が策定されました。この法は、全ての国民にスポーツを楽しむ権利「スポーツ権」を認めるとともに、地域スポーツクラブの支援や障がい者スポーツの支援等の基本的な方向性を示しています。

岐阜県では、「ぎふスポーツ振興計画（平成16年3月）」のもと、生涯スポーツの振興（県民1スポーツ運動）と競技スポーツ（日本一・世界一づくり運動）の振興を図ることとしています。さらに、この二つの分野に加えて、「学校における体育・スポーツ」を主要分野に位置づけています。

(2) スポーツを巡る近年の動向

平成24年9月、岐阜県で47年ぶり2度目となる「ぎふ清流国体」、「ぎふ清流大会」が開催されました。「ぎふ清流国体」、「ぎふ清流大会」を通じて、市民のスポーツに対する関心は高まったと考えられ、今後、その関心の高まりを継続していくことが重要です。

そして、平成28年には第70回全国レクリエーション大会岐阜大会、平成32年には東京オリンピック・パラリンピック、第33回全国福祉祭岐阜大会（ねんりんピック）の開催が決定されており、今後、市民のスポーツに対する関心はますます高まることが期待されます。

(3) 海津市の状況

平成24年9月に開催された「第67回国民体育大会ぎふ清流国体」では、「カヌースプリント」及び「バレーボール（少年女子）」、「トライアスロン」、「ビーチバレー」が当市において開催されました。

現在、本市では、スポーツ推進委員、体育振興会、体育協会、スポーツ少年団などの組織・団体により、市全体及び各地域において市民参加のスポーツ教室・行事が実施されており、市のスポーツ推進が図られています。

また、多様化するスポーツニーズに応えるため、地域性を活かした総合型スポーツクラブが、平成20年度に平田地区（スマイルクラブこん平田）で、平成22年度には南濃地区（南濃スポーツクラブ）で設立されています。

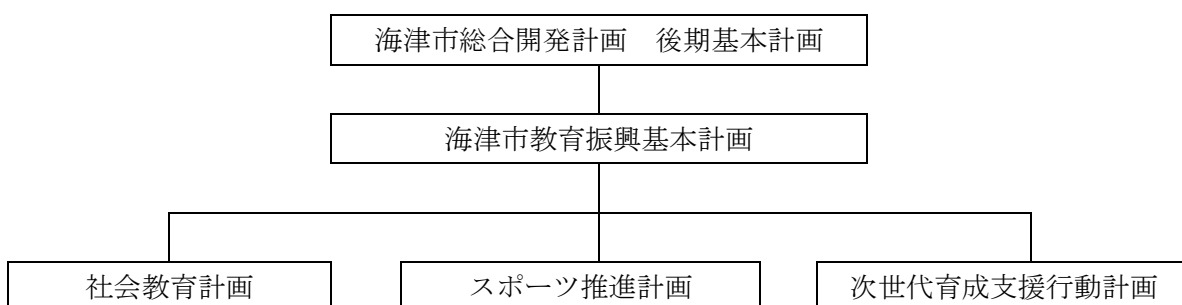
しかし、市財政が年々厳しさを増す中で、多くのスポーツ団体活動が市の補助金に大きく依存している状況にあり、今後は自主財源による運営を目指しての指導を強化し、人的にも自主的運営が可能となる組織・団体を育成していく必要があります。その改善策の一つとして海津市民プールは、平成19年度より指定管理者制度を導入して管理・運営を行っています。

このような状況を踏まえ、「スポーツ基本計画」の基本理念に則り、スポーツに関する施策として、国や県と連携を図りつつ本市の特性に応じたスポーツを推進する計画を策定しました。

2. スポーツ推進計画策定の基本条件

(1) 計画の位置づけ

本計画は、海津市総合開発計画を踏まえ、かいつ健康づくりプランなど、他の関連計画との整合性を図りながら、スポーツの推進における基本的な考え方や施策を示すものです。



(2) 計画期間

平成 27 年度から平成 36 年度までの 10 年間の計画とします。

但し、5 年目の平成 31 年度を中間見直しの年とします。

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
海津市 総合開発計画	→			⋯→							
海津市 教育振興基本計画	→					⋯→					
海津市 スポーツ推進計画	→										

中間見直し

3. 計画策定の視点

(1) 計画の対象とする「スポーツ」の範囲

スポーツの語源は、「気晴らし」や「遊び」とされています。しかし、一般には、「スポーツ」というと、一定のルールに基づいて勝敗や記録を競う競技性の高いものを指すことが多いようです。

しかし、本計画では、推進の対象とする「スポーツ」を、市民に身近なものとして感じてもらい、気軽に取り組んでもらえるように、広い概念として捉えることとします。競技性の高いものだけでなく、ウォーキングや軽い体操など、健康増進や介護予防などのために行う運動も含め、「スポーツ」として表現しています。

(2) スポーツ推進の意義

①健康増進、介護予防のためのスポーツ

継続的に行う軽い運動は、生活習慣病の予防や身体機能の維持、増進のために効果があります。特に近年、「健康寿命」という考え方が重視されるようになり、介護予防の取組が広まりつつあります。子どもから高齢者まで、障がいのある方も含めて、能力に応じたスポーツを行うことで、市民全体の健康増進につながり、医療費の削減なども期待されます。

②子どもの心身の成長を促すスポーツ

子どもの頃にスポーツに取り組むことは、子どもの体力づくりに加え、集団行動やルールに従って行動する意識、集中力やコミュニケーション能力の向上など、心身の成長において大きな意味を持ちます。また、子どもの頃にスポーツが好きになると、大人になっても機会があればスポーツをしようとする傾向があるとされており、子どものうちにスポーツの楽しさを体感できる機会を持つことが重要です。

③生きがいを育むスポーツ

スポーツは、上達することの楽しみや仲間と一緒にやる楽しみ、上手くいった時の達成感など、様々な楽しみ方ができます。日常的な気晴らしやストレス解消、生きがいの創出などなど、精神的な効果が期待できます。また、「する」スポーツだけでなく、「みる」、「支える」といった、様々な関わり方があり、あらためて、スポーツを身近なものとして捉えなおすことも重要です。

④地域の絆を支えるスポーツ

スポーツは、集団で力を合わせたり、競い合うなどにより、人と人とのコミュニケーションを生み出すものです。「スポーツ基本法」にも「スポーツは世界共通の人類の文化」とあるように、オリンピックやワールドカップなど、国際的な交流もスポーツの力で行われています。スポーツを行う人が増え、イベントや教室に参加することは、地域内の交流を生み出し、コミュニティを活性化させることにも効果があります。



海津市全景。海津市は、平成 17 年 3 月 28 日に旧海津郡の海津町・平田町・南濃町の 3 町が合併し、誕生しました。本市は、岐阜県の最南端にあり、県庁所在地である岐阜市、政令指定都市である名古屋市と 30 キロ圏内という東海 3 県の結節点に位置し、西にそびえる養老山脈、東に清らかな水をたたえる揖斐川、長良川、木曾川（木曾三川）を有する豊かな自然環境と治水・治水、縄文時代の遺跡や貝塚、千代保稲荷神社など歴史と伝統がいきづくまちです。

第2章 スポーツの現状と課題

海津市におけるスポーツの機会や環境について、これまでの取組や、団体、施設の状況から整理しています。

また、スポーツに関する市民のニーズや活動状況を把握するため、中学生以上の市民を対象としたアンケートを実施しました。また、体育協会やスポーツ推進委員連絡協議会など、スポーツ関連団体や関係者へのヒアリングを実施しました。

これらの内容から、スポーツ推進に関わる課題を整理しています。

1. スポーツ活動に関する現状

(1) スポーツ行事、教室の開催

平成26年度におけるスポーツ行事としては、以下のようなものがあります。

	行事名	場所	参加予定人数(人)	参加対象
5月	木曾三川交流レガッタ	長良川サービスセンター	600	広域/一般
5月	海津市体育協会体育大会	平田体育館	3,000	市内/団体
6月	下多度地区軽スポーツを楽しむ会	下多度小学校	120	下多度地区/一般
6月	城山地区ソフトボール大会	南濃グラウンド	200	城山地区/一般
7月	全日本中学選手権競漕大会	長良川サービスセンター	550	全国/団体
7月	木曾三川ジュニアトライアスロン大会	長良川サービスセンター	150	広域/一般
8月	長良川国際トライアスロン大会	長良川サービスセンター	600	広域/一般
8月	長良川水上スポーツフェスタ	長良川サービスセンター	200	市内/一般
9月	デ・レーケ記念交流レガッタ	長良川サービスセンター	1,000	広域/一般
9月	下多度地区軽スポーツを楽しむ会	下多度小学校	120	下多度地区/一般
9月	海津市障がい者フライングディスク大会	海津特別支援学校	50	広域/一般
10月	海津市スポーツ少年団大会	平田体育館	500	市内/団体
10月	石津地区運動会	南濃南部グラウンド	600	石津地区/一般
10月	長良川ふれあいマラソン大会	長良川サービスセンター	700	広域/一般
10月	ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会	岐阜市～羽島市	500	広域/一般
10月	平田地区町民運動会	平田グラウンド	500	平田地区/一般
11月	全日本長良川カヌー長距離選手権大会	長良川サービスセンター	150	全国/団体
11月	城山地区ソフトミニバレーボール大会	南濃体育館	150	城山地区/一般
11月	木曾三川公園リレーマラソン	東海広場	2,000	広域/一般
11月	木曾三川ウルトラマラソン	背割り堤等	5,000	広域/一般
1月	海津ミナモマラソン大会	長良川サービスセンター	500	市内/一般
2月	中日西濃駅伝	大垣～海津～大垣	3,000	広域/一般
3月	スポーツ少年団入退団式	平田体育館	500	市内/団体

注) 対象者 全国＝全国大会、広域＝市内外、市内＝市全域、〇〇地区＝〇〇地区
一般＝一般参加あり、団体＝競技団体のみ参加

●木曾三川交流レガッタ



●海津市体育協会体育大会



●下多度地区軽スポーツを楽しむ会



●全日本中学選手権競漕大会



●長良川水上スポーツフェスタ



●長良川国際トライアスロン大会



●海津市障がい者フライングディスク大会



●海津市スポーツ少年団大会



●平田地区運動会



●海津ミナモマラソン大会



(2) スポーツ施設の状況

市内には、以下のようなスポーツ施設があり、スポーツ行事や教室の開催のほか、市民の日常的なスポーツ活動に利用されています。

●スポーツ施設一覧

施設名	場所	主な設備
平田体育館	海津市平田町今尾 503 番地	体育室、トレーニング室 格技場
平田高田体育館	海津市平田町高田 679 番地	体育室
平田三郷体育館	海津市平田町三郷 1241 番地	体育室
平田蛇池体育館	海津市平田町蛇池 117 番地	体育室
平田脇野体育館	海津市平田町脇野 291 番地	体育室
平田勝賀体育館	海津市平田町勝賀 1293 番地	体育室
南濃体育館	海津市南濃地区駒野奥条入会地 99 番地 2	体育室、トレーニング室 格技場
海津グラウンド	海津市海津町高須 515 番地	多目的運動場
平田グラウンド	海津市平田町今尾 500 番地	多目的運動場
南濃グラウンド	海津市南濃地区駒野奥条入会地 99 番地 2	多目的運動場
南濃南部グラウンド	海津市南濃地区田鶴 706 番地	多目的運動場
養南グラウンド	海津市南濃地区津屋 1935 番地 1	多目的運動場
海津テニスコート	海津市海津町高須 515 番地	テニスコート 4 面
平田テニスコート	海津市平田町今尾 500 番地	テニスコート 2 面
南濃テニスコート	海津市南濃地区駒野奥条入会地 99 番地 2	テニスコート 2 面
南濃南部テニスコート	海津市南濃地区田鶴 706 番地	テニスコート 2 面
南濃グラウンド・ゴルフ場	海津市南濃地区羽沢無番地	8 ホール
海津市武道館	海津市海津町高須 515 番地	武道場
海津市柔道場	海津市海津町高須 564 番地 1	柔道場
海津市市民プール	海津市海津町萱野 204 番地 1	屋内温水プール、トレーニ ングルーム、屋外プール (夏季)

●スポーツのできる公園施設一覧

施設名	場所	主な設備
平田公園	海津市平田町三郷 2330 番地	パターゴルフ場 18 ホール など
平田リバーサイドプラザ	海津市平田町野寺 2266 番地 3	サイクルコースなど
長良川サービスセンター (国営木曾三川公園)	岐阜県海津市海津町福江字角山 1202-2	研修室、トレーニングルーム、漕艇練習ゾーン、テニ スコート、カヌー体験コー ナー、サッカーグラウンド、 サンドコートなど

<海津市市民プール指定管理者へのヒアリングより>

●利用状況について

- ・午後から夕方は中高年齢層、19時以降は仕事帰りの利用者が多い。土日や祝日は家族連れの利用が多いが、夜間は少ない。女性の利用者は、中高年齢層では多いが、働き盛り、子育て世代の利用はまだ少ない。

●管理運営について

- ・エアロビクス、ダンス、アクアビクスなど、新しい種目は指導者の確保が難しく、教室の拡充が課題となっている。

●利用者のニーズについて

- ・日曜日は、午前中から夕方までの開館にした方が利用者にとって使いやすい。
- ・成人のプログラムは指導者が重要。エアロビクスやフィットネスなど、需要が見込めるものについて、指導者の育成や確保が重要になる。

●今後の方向性、課題について

- ・着衣泳や水上安全法、救急法の啓発の場としての活用。
- ・高齢者のウォーキングやノルディックウォーキングなど、プールプログラム以外の陸上運動、野外活動プログラムも積極的に取り組んでいきたい。
- ・他の種目や団体のトレーニングの中で、プールでのトレーニングを導入してもらい、その受け入れをしていきたい。

●市のスポーツ推進のために必要と考えられる取組

- ・関係団体間での定期的な連絡調整会議の開催や協議会の設置による、種目の調整や広報面の連携。
- ・利用促進のため、商工会や地元商店などとのタイアップ。
- ・市全体でのスポーツ大会の開催。
- ・レガッタやボート、カヌーなどの市の特徴的なスポーツイベントの充実。
- ・大会では、有名な人を呼んでくることで、人を集めることも効果的。
- ・運動しようとする人へのきっかけづくりが重要。今プールに来ていないような市民を呼び込むこと。

(3) スポーツ団体及び組織の活動状況

市内には、以下のようなスポーツ団体及び組織が活動しており、市民の多様なスポーツ機会を提供しています。

①団体及び組織の概要

組 織 名	目 的 (概 要)
海津市体育協会	海津市内体育団体との連携を図り、体育運動を普及振興して市民の体力向上と、各種団体等の育成強化及びスポーツ精神高揚に寄与する。 16 団体、2,815 人 (平成 26 年度)
海津市スポーツ少年団	青少年がスポーツ活動を計画的かつ継続的にを行うことを目的とし、あわせて、文化活動、奉仕活動等を行えるよう結成。育成指導を通して青少年の健全育成に寄与する。 28 単位団、549 人 (平成 26 年度)
総合型地域スポーツクラブ	地域住民が中心となって、「多種目」、「多世代」、「多様な技術・技能」に合わせてスポーツを楽しむことができ、クラブ会員一人一人がスポーツサービスの受け手と同時に担い手となる、新しい形態のスポーツクラブ。
スマイルクラブこん平田	平成 21 年設立 14 教室、190 人 (平成 26 年度)
南濃スポーツクラブ	平成 23 年設立 13 教室、230 人 (平成 26 年度)
木曽三川ボート協会	ボート競技の普及振興と競技力の向上に努め、市民の体力向上とスポーツ精神を養う。 35 人 (平成 26 年度)
海津市ボート協会	ボート競技の普及振興と競技力の向上に努め、市民の体力向上とスポーツ精神を養う。 39 人 (平成 26 年度)
海津カヌー協会	カヌースポーツの普及と振興を図り、市民の心身の健全な発展に寄与する。 37 人 (平成 26 年度)
NPO 法人 アクアフィールドながら	地域資源である長良川をスポーツとレクリエーションの場とし年齢、障害のあるなしに関わらず人々が一緒になって楽しみ、集うことを基本理念に、健康と福祉の増進を図ることを目的とする。 28 人 (平成 26 年度)

組 織 名	目 的 (概 要)
スポーツ推進委員連絡協議会	<p>平成 23 年 8 月施行のスポーツ基本法に基づき、「体育指導委員」から「スポーツ推進委員」へ名称が変更となった。市から委嘱された非常勤公務員で、スポーツの実技指導とスポーツに関する指導・助言を行うとともに、市民と行政を結ぶスポーツコーディネーターとしての役割を担う。</p> <p style="text-align: right;">21 人 (平成 26 年度)</p>
体育振興会 (下多度・城山・石津地区) 体育推進員会 (平田地区)	<p>地域スポーツの拡大及び振興をし、スポーツを通じて明るい健康なまちづくりを図るため、自治会の単位に体育推進員を設置できるものとし、この体育推進員を核として地域住民のスポーツ参加を呼びかけ、拡大及び充実を図るものとする。</p> <p style="text-align: right;">4 地区 137 人 (平成 26 年度)</p>



スポーツ少年団大会開会式 (平成 25 年度)

②団体からの意見

計画策定にあたり、スポーツ関係団体へのヒアリングを行いました。以下にその概要を示します。

＜スポーツ関係団体、スポーツ推進委員＞

●会員・参加者について

- ・会員数がなかなか増加しない。自主運営するにはもっと会員を増やすことが必要。
- ・小学校の時は少年団で頑張っているが、中学校で指導者がいないと、高校に行ってもスポーツをやりたい子どもがいなくなってしまう。中学校の部活動が重要。
- ・イベント等の参加者が、子どもと高齢者で、20～40代の参加者が少ない。

●人材について

- ・市全体での指導者の協議会を設立してはどうか。
- ・指導者のリストがあれば活用しやすい。県の指導者バンクを活用してはどうか。
- ・指導者が厳しいと、子どもがやめてしまう。楽しく指導できる指導者が必要。小学校の時にスポーツが楽しいと思わないと中学校でスポーツをしなくなってしまうので、小学校の体育の指導が重要であり、指導者講習や指導者の紹介が必要。

●活動拠点について

- ・小規模な施設は多いが、大会を1箇所ですることができるような大きな施設がほしい。大会の時の運営の負担や盛り上がりで大きく違いが出ると思う。
- ・いつ来ても運動ができる施設があるとよい。高校生などが近くで運動できる場所を用意してあげたい。
- ・各地域にある施設が老朽化しているので、メンテナンスに配慮してほしい。

●今後の方向性、課題について

- ・若い世代には、ニュースポーツより、フットサル、マラソンなど、流行りの種目の方が取り組んでもらいやすい
- ・市の運動会など。体育協会と連携して、市の軽スポーツ大会などを開催したい。
- ・スポーツ少年団全体の広報紙やHPを作ってはどうか。少年団全体で集まる機会や異なる競技とのつながりがあった方がよい。
- ・3町のままの組織で運営しているので、1つにまとめていくことが必要では。
- ・楽天の嶋選手などの有名選手を紹介して、子どもたちに夢を持たせることが重要。
- ・体育協会の組織のあり方について、NPOになるなど、法人化について考えていくべき時期にあるのではないか。
- ・地域の振興や交流など、行事の目的を位置づけることで、運営のあり方や種目の選び方なども変わってくるかもしれない。
- ・スポーツ推進委員の市民への認知度を高める必要がある。

●他の関係施設・団体との連携、協力体制について

- ・市全体のスポーツ団体をまとめる組織が必要である。
- ・既存の団体が連携を取って、イベントを開催できないか。
- ・他地区との情報交換、交流の機会があると、自分たちの取組の参考にもなる。
- ・スポーツに関する団体間のつながりを積極的に進めてほしい。

●市のスポーツ推進のために必要と考えられる取組み

- ・一流選手の試合を観戦する機会をつくる。
- ・神社など、名所を巡るウォーキングイベントを開催してはどうか。ウォーキングイベントも、正しい歩き方を教えてくれる指導者がいると面白くなる。

2. スポーツに関する市民意識調査

本計画の策定にあたり、中学生以上の市民 2,000 人を対象としたアンケート調査を行いました（回収数 717 件、回収率 35.9%）。

(1) スポーツの実施について

- ・週 1 回以上スポーツ実施率は 37.5%（国、県より低い）。
- ・スポーツをすることが好きな人は約 6 割。
- ・運動やスポーツをしていない人が 2 割半ばいる。
- ・行っているスポーツは、ウォーキング、体操が多い。理由は、健康・体力づくり、楽しみ・ストレス解消。
- ・一人で、自宅や近所の道路や空き地でしている人が多い。
- ・スポーツをしない理由は、忙しくて時間がないからが多い
- ・今後行いたいものは、ウォーキング、体操、水泳が多い。

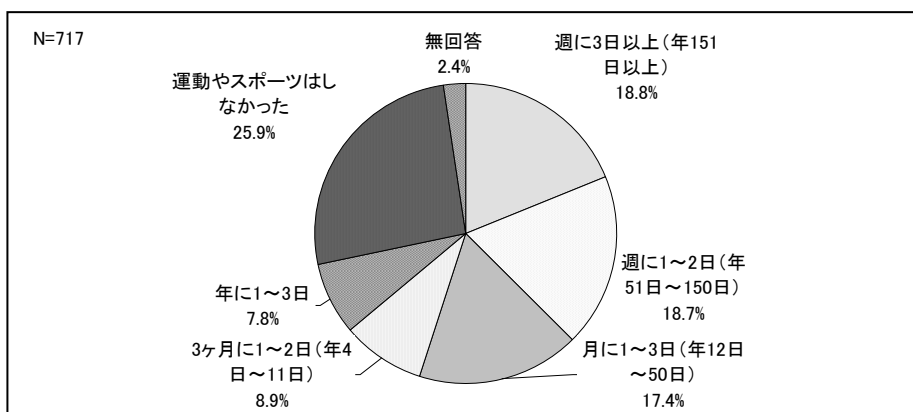


図 スポーツ実施率

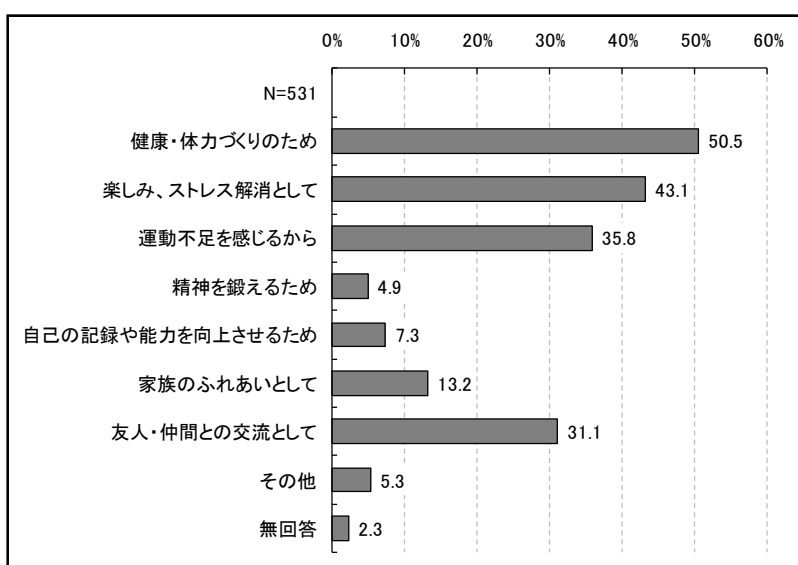


図 スポーツをする理由

(2) 団体やボランティアについて

- ・指導者には、スポーツの楽しみや興味・関心がわくような指導ができる人が求められている。
- ・施設には、身近で利用できるように施設数の増加、利用手続き、料金支払い方法の簡略化、利用時間帯の拡大、初心者向けのスポーツ教室や行事などが求められている
- ・クラブや協会へは加入したくない人が半数以上。入りたいものは地域のクラブや協会が多い。
- ・クラブや協会への加入動機は、健康・体力づくり、好きなスポーツ活動ができるから、継続してできるから。
- ・ボランティア活動をしている人は少ない。活動の動機は、出会い・交流の場、好きなスポーツの普及・支援。

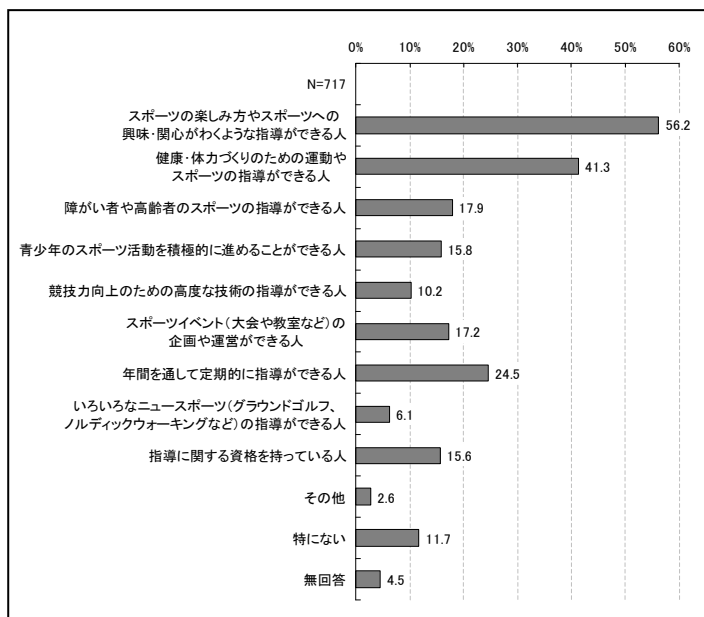


図 求められるスポーツ指導者像

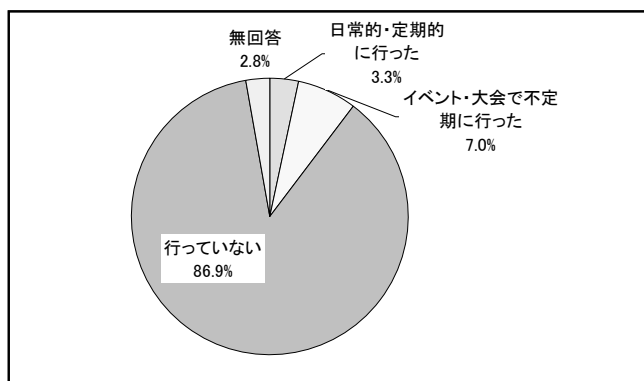


図 スポーツボランティアへの参加

(3) 運動やスポーツに関する情報について

- ・入手していない人が多い。情報を入手している人は広報や回覧板、掲示板が多い。
- ・知りたい情報は、施設の利用案内、健康づくり、スポーツ教室、大会やイベントの情報。

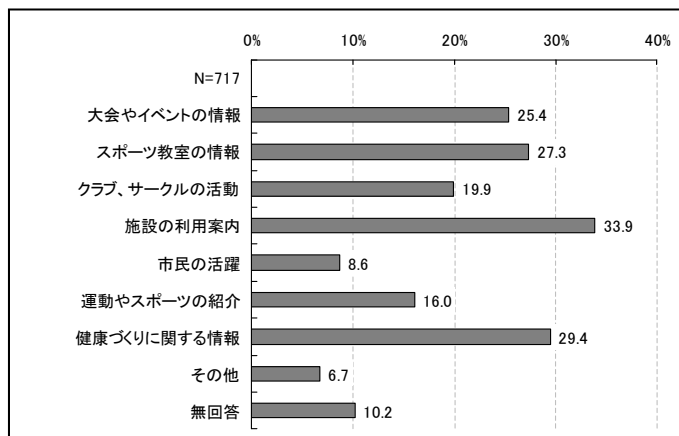


図 知りたいスポーツ情報

(4) 市のスポーツ施策について

- ・地域のスポーツ推進に期待する効果としては、地域コミュニティの活性化、高齢者の生きがいがづくり、余暇の有効活用、親子や家族の交流
- ・子どものスポーツ・外遊びの環境は悪いと認識。必要な取組は、体を動かしたくなる場の充実、気軽に活動できる地域のスポーツクラブの充実、親子や家族で体験する機会
- ・スポーツ推進のための市の取組では初心者向けのスポーツ教室、小中学校の運動部活動の充実、中高年者のスポーツ活動の推進、スポーツ施設の整備・充実

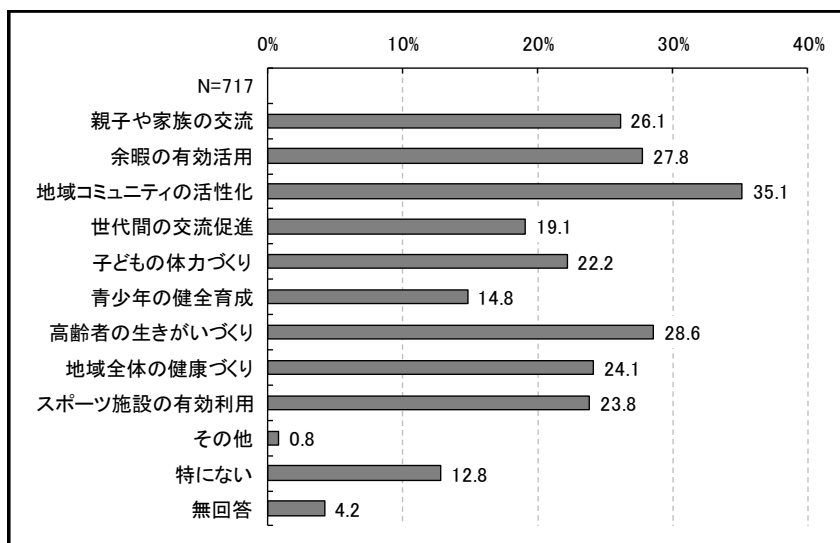


図 地域のスポーツ推進に期待する効果

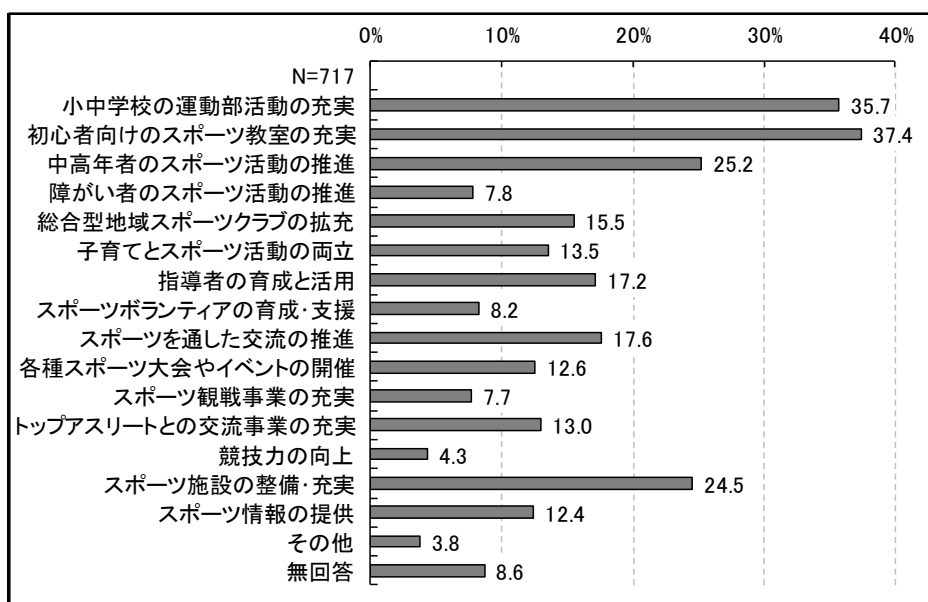


図 推進してほしいスポーツ施策

3. スポーツ推進における課題

市民アンケートなどから、海津市の今後のスポーツ推進における課題を整理しました。

(1) 市民のスポーツ機会に関する課題

- 行っているスポーツの内容は、個人で行うウォーキングや体操が多くなっており、活動の場所も身近な道路や公園が多くなっています。
- スポーツをしない理由としては、忙しいことが多く挙げられており、若年層の実施率が低いことと関連があると考えられます。スポーツを好きな人は多いことから、身近にスポーツをはじめのきっかけを与えることが、実施率を上げることにつながると考えられます。
- 初心者向けのスポーツ教室に対するニーズが高く、市民が求める種目や内容に対応したイベントや教室といった機会を充実させることが求められます。
- 子どもの外遊びやスポーツの環境はあまり良くはないとされています。身近な場所でスポーツができるための団体や施設の充実が必要です。また、学校におけるスポーツ活動においても、子どもがスポーツを好きになり、大人になっても機会を見つけてスポーツをするようにつなげていくことが必要です。

(2) スポーツ環境に関する課題

- 合併前に各町において整備された施設が各地域に位置しており、地域における市民や団体の活動の場を提供していますが、老朽化が進みつつあります。
- 地域において一定の施設がある一方で、規模の大きい総合的なスポーツ施設が不足しており、大会の開催や誘致がしにくい状況があります。
- 長良川サービスセンターは、レガッタコースやサッカーグラウンドなど、多くの施設がありますが、国が管理していることもあり、市民には利用しにくい状況にあります。

(3) スポーツ団体、組織に関する課題

- 市民において、団体に参加している人、今後加入したい人は多くはないのが現状です。団体においても、近年、参加者の停滞や高齢化などが課題となっています。市民の多くが行っているスポーツが、団体に参加しないとできないものではなく、ウォーキングや体操が多くなっていることとも関係していると考えられます。
- 市全体としての少子高齢化の傾向も団体の参加者減や高齢化にもつながっていると考えられます。団体スポーツでは、活発な活動を継続するには相当数の会員が必要であることから、団体間の連携や、必要に応じて統合なども検討していく必要があると考えられます。
- 合併前の旧町により組織に違いがあるため、市民のためのスポーツ行事の開催に差があります。スポーツ行事を開催することにより地域住民の一体感にもつながると考えられます。
- 団体の活動には、資金や活動場所が必要であり、団体の活性化が市民の活動機会の提供にもつながることから、運営が継続できるような支援をしていく必要があります。

(4) 情報に関する課題

- スポーツ団体の活動やイベントなどについて、市民への広報が十分伝わっていない状況があるようです。
- 広報が充実することにより、スポーツイベントや団体への参加が増えることも期待されます。市の広報以外で、スポーツに関する情報を的確に市民に伝える工夫が必要とされます。

第3章 基本的な方向性

1. まちづくりにおいてスポーツが担うべき役割

近年、少子高齢化や生活習慣病の増加、共働き世代の増加や情報社会の進展等による地域コミュニティの衰退など、地域は多様な課題に直面しています。

こうした社会において、スポーツは心身の健康増進に寄与するだけでなく、スポーツを介して地域や仲間とのつながりを生み出すなど、人々の健康づくり・生きがいづくり、そして地域のコミュニティづくりに大きな役割を果たすことが期待されます。

2. 計画策定の方向性

(1) 基本理念

市民がスポーツを「みること」や「すること」に対して、これまで以上に興味を持ち、健康や生きがい、人とのつながりなど、それぞれの目的やライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるような機会を充実させます。スポーツを日常的にする人が増えることで、多くの市民が健康でいきいきとした日常生活を送れるようになります。

スポーツの力を生かしたまちづくりを進めるため、既存の体育施設の整備・充実やネットワーク化を図るとともに、市民のニーズに合った指導者の養成・確保に努めます。また、地域の特性に応じたスポーツ活動を推進し、それぞれの地域の「誇れるスポーツ」の実現を支援します。

このような考え方より、以下のような基本理念を掲げます。

みんなでスポーツ いきいきライフ

～スポーツの力で 人と地域が元気になるまち かいづ～

(2) 数値目標

基本理念に基づく計画の達成状況を把握する指標として、週1回以上のスポーツ実施率を用いることとします。

週1回以上のスポーツ実施率：37.5%（平成26年度実績）

⇒45%（平成36年度目標）

(3) 施策の方向

基本理念を実現化するため、以下の4つの方向性を掲げます。

①スポーツを楽しむ機会の創出

多くの市民は、スポーツが好きであり、何らかのスポーツを行いたいと思っています。スポーツを行う理由としては、健康づくりや楽しみ、ストレス解消、人との交流などが挙げられます。こうしたニーズや、市民それぞれのライフスタイルやライフステージなどを踏まえて、スポーツを行う機会の提供を進めていきます。

また、スポーツ人口の底辺の拡大のため、今まで行っていなかった市民が気軽に参加できるようなイベントや初心者向けの教室などを開催するほか、地域の交流を目的としたスポーツイベントの開催を進めます。

これらの取組を通じて、より多くの市民がスポーツを楽しむ機会を創出していきます。

②スポーツ環境の充実

市民が気軽にかつ安全で快適にスポーツができるように、スポーツを行うことができる施設の充実を図ります。適切な維持管理に努めるとともに、利用者の視点に立った利便性の向上を図ります。

また、学校の体育施設のさらなる有効活用や身近な場所でスポーツができる環境を充実させます。

③スポーツを推進する人材と組織の充実

市民が様々なスポーツを楽しんだり、スポーツの技術を高めていくためには、指導者やスポーツ団体が充実して活動していることが重要です。

スポーツ指導者には、スポーツの楽しさを教えてくれることが期待されており、スポーツにおける安全確保の観点からも、指導者の確保や資質の向上、効果的な活用などを進めていきます。

スポーツ団体については、スポーツに親しもうとする人の受け皿として、市民が生涯を通じてスポーツを行うことができ、競技力の向上を支える存在となるよう、活動の支援を行います。また、それぞれの役割を踏まえつつ、団体相互の連携を強めるとともに、将来的には自立した運営ができるように促していきます。

④スポーツに関する情報の収集、発信

スポーツに対する市民の関心を高めるとともに、市内で開催されるイベントや教室への参加を促すための情報の収集、発信を進めます。

また、市内で活動している団体の活動内容などの情報についても広報することで、市民の関心度の向上や団体の活動支援につなげていきます。

(4) 施策の体系

施策の方向	施策	取組
1. スポーツを楽しむ機会の創出	(1) 多様なニーズに対応したスポーツ機会の充実	①スポーツを通じた健康づくりの推進 ②子どものスポーツ活動の推進 ③親子、家族で行うスポーツ活動の推進 ④障がい者のスポーツ活動の推進 ⑤スポーツ活動のレベルアップに向けた支援
	(2) 気軽に参加できる機会の創出	①市民のスポーツ大会・イベントの開催 ②初心者向けスポーツ教室の開催 ③市民のスポーツ観戦機会の創出 ④スポーツを通じた地域交流の推進
2. スポーツ環境の充実	(1) 体育施設の充実	①体育施設の整備・充実 ②多様なニーズに対応した設備の充実
	(2) 身近なスポーツ環境の充実	①学校施設の有効活用 ②ウォーキングコース等の整備 ③身近な施設等でのスポーツ環境の充実 ④スポーツに関する備品等の充実
3. スポーツを推進する人材と組織の充実	(1) スポーツ団体の充実	①総合型地域スポーツクラブの育成 ②既存スポーツ団体、クラブの活性化 ③スポーツ団体間の連携促進
	(2) スポーツ人材の育成と活用	①スポーツ指導者の育成、確保及び活用 ②スポーツ関係者等の情報共有、交流機会の創出 ③トップアスリートの活用 ④スポーツボランティアの参加機会の拡大
4. スポーツに関する情報の収集、発信	—	①スポーツイベントに関する情報発信の充実 ②スポーツ団体の情報発信の充実 ③スポーツに関する市民の関心度の向上

第4章 施策の展開

1. スポーツを楽しむ機会の創出

●：既存（継続・充実）

☆：新規

（1）多様なニーズに対応したスポーツ機会の充実

健康のためにスポーツを行う人が多い一方で、子どものスポーツ環境や、働き盛り、子育て世代のスポーツ実施には課題がある状況です。

スポーツに対する様々なニーズや、世代などの特性に応じて、市民の誰もがスポーツを楽しむことができる機会を創出します。

①スポーツを通じた健康づくりの推進

多様な世代の健康づくりを支援するため、総合型スポーツクラブ等が行うサークルや教室、大会の開催を推進するほか、直接スポーツに関わらないイベント等においても、体力測定を行うことなどにより、市民の健康づくりへの関心を高めつつ、健康づくりにつながる軽スポーツの機会を充実させます。

<取組イメージ>

- 総合型地域スポーツクラブのサークル・教室・ウォーキング大会など
- 各種イベントにおける体力測定
- 軽スポーツ教室の活性化
- 高齢者向けトレーニング教室
- 健康づくりにつながる運動の知識の普及、啓発

②子どものスポーツ活動の推進

子どものうちにスポーツを好きになり、スポーツに親しむことができる機会を充実させます。また、子どもの健全育成のため、スポーツ少年団など、チームスポーツの活動の場となる団体の活動支援を行うほか、外部指導者の活用などによる学校部活動の活性化を図ります。

<取組イメージ>

- スポーツ少年団活動
- 総合型地域スポーツクラブ教室の運営
- スポーツアカデミーの開催
- 体育協会などから部活動やスポーツ少年団へ専門のコーチ派遣
- 体育協会とスポーツ少年団の交流

③親子、家族で行うスポーツ活動の推進

マラソン大会や体育振興会の行事など、身近な地域で、親子や家族で参加できるイベントの充実を図ります。また、スポーツを通じた家族の交流を促進し、働き盛り世代や子育て世代のスポーツ活動への参加を促進するため、親子で参加できるイベントや教室を積極的に開催していきます。

<取組イメージ>

- ミナモマラソン大会
- 各地域の体育振興会行事、体育推進員行事
- ☆親子参加型のスポーツイベントの開催

④障がい者のスポーツ活動の推進

障がい者主体のスポーツイベントや、障がい者と健常者がともに参加しやすいスポーツイベントや教室を開催し、障がい者のスポーツ機会の充実を図ります。

<取組イメージ>

- フライングディスク大会（海津特別支援学校）
- 長良川ふれあいマラソン大会
- ☆既存のスポーツイベントにおける障がい者の参加機会の拡充
- ☆スポーツ施設のバリアフリー化の推進

⑤スポーツ活動のレベルアップに向けた支援

スポーツに取り組む意欲が高い市民や、技術力・競技力の向上を目指す市民に対して、スポーツ活動における様々な支援や、指導者や団体等の情報提供を行うことにより、そのレベルアップを支援する取組を行います。

<取組イメージ>

- ☆2020 ターゲットエイジ選手支援事業（仮称）
- ☆技術力・競技力の向上のためのスポーツ情報の提供

(2) 気軽に参加できる機会の拡充

スポーツをすることは、健康増進だけでなく、生きがいの創出や人との交流にもつながります。スポーツに関心がなく、行っていない市民に対して、スポーツへの興味を持ってもらい、楽しさを体験してもらう機会を拡充します。また、スポーツへの参加を通して地域の交流を深めていきます。

①市民のスポーツ大会・イベントの開催

市民が気軽に参加しやすいスポーツ大会やイベントを開催していきます。特に、市民が身近な場所で参加できるよう、それぞれの地域における軽スポーツの大会やイベント等を積極的に開催していきます。

<取組イメージ>

- ミナモマラソン大会、水上スポーツフェスタ
 - 各地域の体育振興会行事、体育推進員行事
 - スポーツ推進委員のタスポニー交流大会
- ☆各種目記録会の開催

②初心者向けスポーツ教室の開催

市民のニーズが高く、これまでスポーツを行っていない市民も参加できるように初心者向けスポーツ教室を開催していきます。開催にあたっては、より多くの市民がスポーツに親しみ、自主的に活動していけるよう、スポーツの楽しさを体験できるような指導に配慮します。

<取組イメージ>

- 総合型地域スポーツクラブにおける教室の開設
 - 市民プールの水泳教室
- ☆初心者向けスポーツ教室の開催（開催場所、機会の拡充）

③市民のスポーツ観戦機会の創出

「みる」スポーツを通じて、市民のスポーツに対する関心を高めるため、ボートやカヌー、トライアスロン競技など、海津市の特徴的なスポーツ環境を生かし、市民のスポーツ観戦機会を創出します。スポーツ観戦は、市民とスポーツとの身近な接点となるだけでなく、一流アスリートの競技を観戦することを通じて、将来のトップアスリートの育成にもつながります。

<取組イメージ>

- 国際的、全国的なスポーツ大会の誘致、開催
- ☆2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプの誘致

④スポーツを通じた地域交流の推進

スポーツの持つ力による地域間交流、地域内交流を促進するためのスポーツイベントの開催を進めます。身近な地域におけるスポーツイベントや、海津市全体でのイベントを開催し、交流を深めていきます。

<取組イメージ>

- ミナモマラソン大会
 - 各地域の体育振興会行事、体育推進員行事
 - 総合型地域スポーツクラブ行事
- ☆市全体でのスポーツイベントの開催



平田地区運動会の様子

2. スポーツ環境の充実

(1) 体育施設の充実

市内に位置する社会体育施設について、整備・充実や利便性の向上などを進め、市民が利用しやすいスポーツ環境の充実を図ります。

①体育施設の整備・充実

体育施設について、市民のスポーツ活動の場として、耐震化や適切な維持管理を図ります。

また、長良川サービスセンターについて、市民が利用しやすくなるよう、関係機関との協議を行います。

<取組イメージ>

- 体育施設の耐震化及び改修
 - 体育施設の適切な維持管理
 - 長良川サービスセンターの利用促進に関する検討
- ☆体育施設の集約

②多様なニーズに対応した設備の充実

様々なスポーツ種目や市民のニーズに対応できるよう、体育施設における設備の充実を図るほか、高齢者や障がい者にも利用しやすいよう、施設のバリアフリー化を推進します。

<取組イメージ>

- ☆スポーツ施設の利用方法などに関する周知
- ☆社会体育施設のバリアフリー化の推進
- ☆快適に利用できる設備の充実



世界ボート選手権（長良川サービスセンター）

(2) 身近なスポーツ環境の充実

市民が身近な場所でスポーツに親しめるよう、学校施設の有効活用を進めるほか、道路や公園などにおける安全なスポーツ環境の充実を図ります。また、備品の充実や貸出により、市民や団体等が気軽にスポーツを行う支援を行います。

①学校施設の有効活用

市民や団体のスポーツ活動の場として、学校施設の体育館やグラウンドなどの開放を進めるとともに、設備の充実を図ります。

<取組イメージ>

- 市立学校体育施設の開放
- 市立学校体育施設の適正な維持管理、設備の充実

②ウォーキングコース等の整備

市内の名所・旧跡などを結ぶウォーキングコース等を整備し、市民のウォーキングの場を充実させます。その上で、鉄道会社などと連携したウォーキングイベントを開催し、市民及び市外の人を呼び込むことによって賑わいの創出につなげます。

<取組イメージ>

- ☆市民、団体によるウォーキングコースの設定
- ☆ウォーキングマップの作成

③身近な施設等でのスポーツ環境の充実

体育施設に限定せず、福祉施設や児童施設などにおいても軽スポーツなどがしやすい環境を整備するほか、道路や公園などの身近な場所においても、スポーツがしやすく、子どもが遊びやすい環境を整備します。

<取組イメージ>

- ☆公共施設におけるスポーツ活動の推進
- ☆公園や広場におけるスポーツ環境の整備

④スポーツに関する備品等の充実

市民や団体が軽スポーツやニュースポーツなどに取り組みやすいよう、必要な備品の充実を図ります。備品を活用したスポーツイベントや教室を開催し、参加者が自主的な活動する際に貸出を行います。

<取組イメージ>

- 軽スポーツ備品の充実
- 備品を活用したイベント等の開催
- 市民・団体等への備品の貸出

3. スポーツを推進する人材と組織の充実

(1) スポーツ団体の充実

スポーツ団体は、子どもから大人まで、スポーツを継続的に行ったり、競技力を高めたりする上で、活動の基盤としての役割を担っています。それぞれの団体の特性に応じた活動を支援するとともに、連携や役割分担を明確化するなどにより、団体の充実を図ります。

①総合型地域スポーツクラブの育成

現在市内で活動している2つの総合型地域スポーツクラブについて、円滑な運営ができるよう、クラブマネージャーや指導者等の資質向上を促し、自主運営への働きかけなど、クラブの育成を行います。将来的には、クラブの統合や、より自立性の高い運営への変革に向けた検討、推進を支援していきます。

<取組イメージ>

- クラブマネージャーの研修・資格の取得
 - 自主運営への働きかけ
 - 後進の育成、機能的な組織となるための変革
- ☆総合型地域スポーツクラブへの地域のスポーツイベントの開催委託

②既存スポーツ団体、クラブの活性化

体育協会等、既存のスポーツ団体やクラブへの活動の支援を行い、活性化を図ります。その上で、自立的な運営ができるよう、活動内容に応じた適切な支援を行います。

海津市体育協会については、運営強化のための法人化に向けた検討を行います。

<取組イメージ>

- ☆活動内容、活動実績に応じた支援の仕組みづくり
- ☆スポーツ単位団体の統廃合
- ☆スポーツ団体における競技力向上に向けた支援
- ☆全国大会や県大会への参加支援（報奨費の交付など）
- ☆体育協会の法人化に向けた検討

③スポーツ団体間の連携促進

市内で活動している様々なスポーツ団体間の連携を促し、それぞれの活動の活性化や、運営の効率化などを進めます。また、市民の幅広いニーズに対応できるよう、効率的な運営のための団体間の統合について検討し、適切に推進します。

<取組イメージ>

- ☆総合型地域スポーツクラブ、体育協会、スポーツ少年団の統合に向けた検討
- ☆それぞれの団体が補うことで、幅広いニーズに対応できるスポーツ団体への成長

(2) スポーツ人材の育成と活用

市民がスポーツに親しみ、また、技術を向上させるためには、適切な指導者がいることが必要です。スポーツ指導者の育成や活用を推進するとともに、国体での経験を生かし、スポーツイベントにおけるボランティアの組織化を図ります。市内でスポーツに関わる人材間の情報共有、交流のための機会を創出し、連携した取組や活動の質の向上を図ります。

また、トップアスリートと連携したイベントや教室などを開催してスポーツへの市民の関心を高めていきます。

①スポーツ指導者の育成、確保及び活用

スポーツ指導者に対する研修を充実させ、資質の向上を図ります。また、市民のニーズに合った指導が行えるよう、指導者間の情報交換や情報共有を進めます。

<取組イメージ>

- 指導者研修の実施や紹介
- スポーツ推進委員の資質向上
- ☆指導者資格の取得に対する補助
- ☆スポーツ指導者バンクの整備と活用
- ☆中学校への外部指導者派遣の推奨

②スポーツ関係者等の情報共有、交流機会の創出

スポーツ団体や指導者、スポーツ施設管理者等が情報を共有し交流する機会を創出します。定期的に情報交換し、大会や広報などにおいて連携できるような関係づくりを進め、それぞれの活動の活発化につなげていきます。

<取組イメージ>

- ☆スポーツ関係者連絡協議会の設置、開催

③ トップアスリートの活用

地元出身のトップアスリートを招待したスポーツ教室、スポーツイベントを開催するほか、県の人材バンク等を利用し、市民がスポーツに関心を持ち、子どもたちに夢を与えるような機会を創出します。

<取組イメージ>

●スポーツアカデミー

☆地元から生まれたアスリートによる指導

☆スポーツイベントにおけるトップアスリートの招待

④ スポーツボランティアの参加機会の拡大

岐阜県では、平成 28 年に第 70 回全国レクリエーション大会岐阜大会、平成 32 年に第 33 回全国福祉祭岐阜大会（ねんりんピック）の開催が決定しています。このような広域的なスポーツ大会や市民スポーツ大会の開催において、スポーツボランティアを募り、活動の場を与えることでスポーツボランティアの参加機会の拡大を図ります。また、ボランティアの登録制度を創設し、ボランティアに参加しやすく、活動しやすい環境を整えます。

<取組イメージ>

☆スポーツボランティア登録制度の創設、組織化

☆スポーツイベントにおけるボランティア活用の推進

☆全国的なスポーツイベント開催に向けた機運醸成と人材育成

4. スポーツに関する情報の収集、発信

①スポーツイベントに関する情報発信の充実

様々なスポーツイベントや教室の開催にあたって、より多くの市民が関心を持ち、参加していただけるよう、市報や HP などの各種媒体を活用し、情報発信の充実を図ります。

<取組イメージ>

- 市報での軽スポーツ教室のスケジュール（毎月）・スポーツイベントの案内
- 総合型地域スポーツクラブの折込チラシ
- 各種大会結果の掲載

②スポーツ団体の情報発信の充実

各スポーツ団体及びスポーツ推進委員の活動内容や、団体が行っているイベント等の情報発信について、より多くの市民の目に触れやすいよう、情報発信の場を提供するなどの支援を行います。

<取組イメージ>

- ☆市 HP と各スポーツ団体 HP のリンク
- ☆スポーツ団体の情報発信に関する支援
- ☆市のスポーツ広報紙を発行、配布

③スポーツに関する市民の関心度の向上

健康づくりの場をはじめ、各種公共施設、観光スポット、イベントの開催など、様々な場や機会を活用して、スポーツ関連情報を発信することで、市民がスポーツに興味を持ち、スポーツをはじめのきっかけが生まれるような取組を進めます。

<取組イメージ>

- ☆多様な公共施設、イベントにおけるスポーツ情報の発信（スポーツに関わらないものも含めた積極的な展開）
- ☆日常生活にスポーツ的な要素を取り入れる情報の発信

第5章 計画の推進

1. 市民、団体、市の役割

スポーツの推進においては、市民、スポーツ関係団体、市がそれぞれの役割を認識し、主体的に活動することが重要です。それぞれの主体については、以下のような役割が期待されます。

(1) 市民

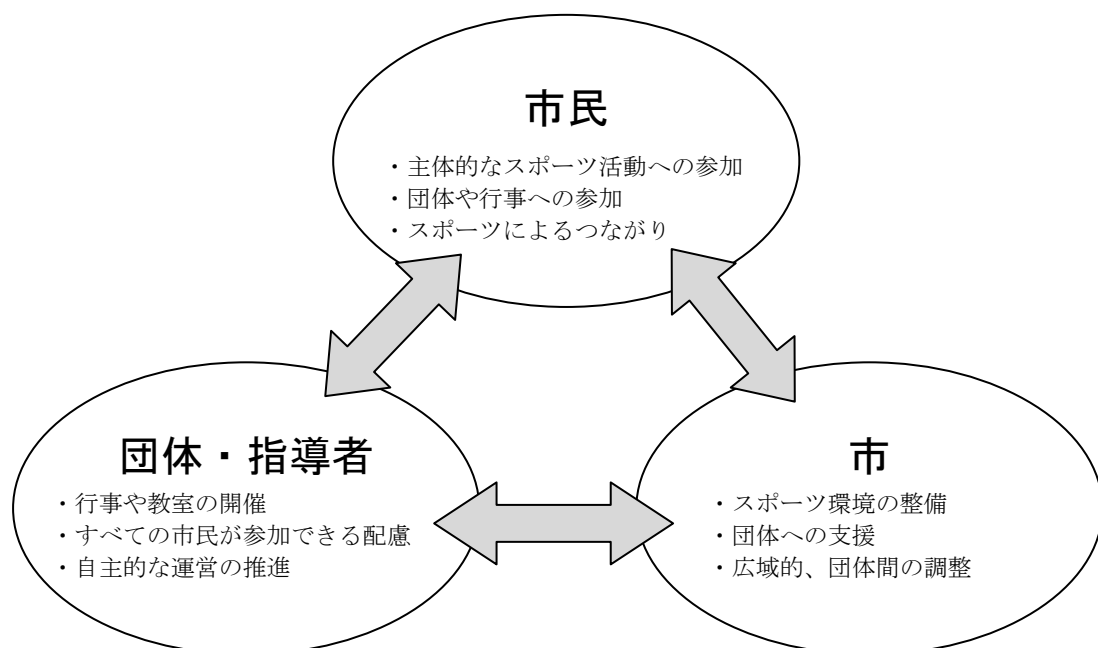
- ・日常的に身体を動かし、スポーツを楽しむこと
- ・スポーツ団体や行事に積極的に参加すること
- ・スポーツを通じて家族や地域のつながりを育むこと

(2) スポーツ関係団体及び指導者

- ・市民が気軽に、楽しく参加できる行事や教室を積極的に開催すること
- ・すべての市民が参加できるよう行事や教室に配慮すること
- ・自主的な運営に努め、積極的に市のスポーツ推進に寄与すること

(3) 市

- ・スポーツ施設をはじめとする環境の整備に努めること
- ・団体や指導者の活動を支援し、多様なスポーツ機会を市民に提供すること
- ・広域的な調整や、団体間の連携を図ること



2. 推進体制

計画の推進においては、学識経験者や関係団体の代表者などで構成する「海津市スポーツ推進審議会」によって、計画の進行管理や評価を行い、取組の充実を図ります。

また、平成 31 年度の中間見直しにあたっては、市民アンケートを実施して、数値目標の確認を行い、計画の見直しを行います。